

12 2012年の通商関連の主な動き

月日	主な動き	内容・決定事項等
1 5	11年登録車販売台数【日本自動車販売協会連合会】	268.91万台（前年比▲16.7%）。
10	中国、11年貿易統計	輸出は1兆8,986億ドル（前年比+20.3%）、輸入は1兆7,435億ドル（同+24.9%）となり、ともに過去最大を更新。
11	11年輸入車新規登録台数【日本自動車輸入組合】	27.6万台（前年比+22.5%）。
11	11年12月末外貨準備高	1兆2,958億4,100万ドル（前月比▲89億2,200万ドル）。
11	米FRB、ベージュブック（地区連銀経済報告）	米国の経済活動は「緩やかなし、ますますのペースで拡大」。
12	ECB、政策金利	1.0%。
13	野田改造内閣が発足	17閣僚のうち12名が留任。
17	就職内定率	12年春卒業予定の大学生の11年12月時点の就職内定率は71.9%、1996年度に現行方式の調査開始以来最低であった前年同期比で+3.1ポイント改善。
17	中国、11年GDP	前年比+9.2%、2年ぶり1ケタ成長。
17	1月月例経済報告	「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。」
20	11年粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	粗鋼生産量1億760万トン（前年比▲1.8%）、減少に転じるも、1億トン水準を維持。
20	11年訪日外国人数【国際観光振興機構】	621.9万人（前年比▲27.8%）と前年比の減少率としては過去最大の下げ幅。
23	日銀、金融政策決定会合（～24日）	金融政策の現状維持を決定。
23	11年世界粗鋼生産量【世界鉄鋼協会】	15億1,468万トン（前年比+6.8%）、2年連続で過去最高を更新。
24	米、FOMC（連邦公開市場委員会、～25日）	FFレートの誘導目標（0～0.25%）を据え置き、ゼロ金利政策の継続を表明。
24	第180回通常国会召集	前国会で復興財源確保法案を除き未成立となった重要法案の審議が焦点。
24	11年工作機械受注（確報）【日本工作機械工業会】	1兆3,262億円（前年比+35.5%）、2年連続の増加。
24	日銀、経済見通し	実質GDP成長率は12年度+2.0%、13年度+1.6%と概ね見通しに沿って推移。
24	米オバマ大統領、一般教書演説	米製造業の復活を目指すと表明。雇用拡大やハイテク企業の国内回帰を促す優遇税制などを導入。
25	世界経済フォーラム年次総会（～29日、スイス・ダボス）	「大いなる変革と新たなモデル作り」を主要テーマに、ユーロ危機の長期化など不透明な状況が続くなかで、経済秩序の構築などについて模索。

月日	主な動き	内容・決定事項等
25	11年貿易統計（速報）	輸出は65兆5,547億円（前年比▲2.7%）と2年ぶりの減少、輸入は68兆474億円（同+12.0%）と2年連続の増加、貿易収支は2兆4,927億円と31年ぶりの赤字。
25	11年薄型テレビ国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	1,982万9,000台（前年比▲21.3%）。
27	米、11年GDP（速報）	+1.7%。
30	米、11年個人消費支出	+4.7%、2年連続の増加。
31	11年12月完全失業率	4.6%。
31	11年国内自動車生産台数【日本自動車工業会】	839.9万台（前年比▲12.8%）、2年ぶりの減少。
31	11年自動車輸出実績【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数は446.4万台（前年比▲7.8%）、2年ぶりの減少。うち乗用車は393.0万台（同▲8.1%）。
31	11年新設住宅着工戸数	83万4,117戸（前年比+2.6%）、2年連続の増加。
31	ロシア、11年GDP	+4.3%。
2 3	10年度国民健康保険納付率	88.6%（前年比+0.59）と3年ぶりに改善、保険料の減免措置の拡充などが影響。
8	11年度第4次補正予算成立	総額2兆5,345億円。
8	11年国際収支統計（速報）	経常黒字9兆6,289億円（前年比▲43.9%）と2年ぶりに黒字幅が縮小。所得収支の黒字幅は拡大したものの、貿易・サービス収支が赤字に転じたことが主因。
9	11年機械受注統計	24兆7,874億円（前年比+6.8%）。
9	ECB、政策金利	1.0%。
10	11年末時点の国の借金	債務残高総額958兆6,385億円（前年末比+39兆4,874億円）と過去最悪を更新。
10	米、11年貿易収支	▲5,580億ドル（前年比+11.6%）
13	日銀、金融政策決定会合（～14日）	中長期的な物価安定の目途の導入と資産買入れ枠を65兆円に。
13	11年GDP（速報）	実質▲0.9%、名目▲2.8%。ドル換算した名目GDP実額は6兆5,300億ドルと中国（7兆3,000億ドル）を1兆ドル近く下回る。
13	米大統領、13年会計年度予算教書発表	13会計年度の歳入2兆9,020億ドル、歳出3兆8,030億ドル、財政赤字9,010億ドル（対GDP比5.5%）。10年間で約3.2兆ドルの財政赤字削減策を提案。
15	ユーロ圏17カ国、11年GDP	+1.5%。
16	2月月例経済報告	「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。」
20	11年完全失業者数	失業期間1年以上の完全失業者は109万人（前年比▲5万人）。

月日	主な動き	内容・決定事項等
20	12年1月貿易統計(速報)	貿易収支は▲1兆4,750億円と4カ月連続の赤字、単月では09年1月の9,679億円を上回り過去最大。
25	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～26日、メキシコ市)	債務危機に陥った国を支える欧州の資金枠を拡大することを条件に、国際通貨基金(IMF)の資金基盤強化も検討する方針を表明。
29	東京スカイツリー竣工(墨田区)	自立式鉄塔としては世界一となる高さ634mの展望タワー。
29	米、11年GDP(2次速報)	+1.7%。
3	5 中国、第11期全国人民代表大会第5回会議(～14日)	中国の経済成長率を7.5%に引き下げ、科学技術進歩と労働者の資質向上に頼った成長モデルに転換し、良質な成長の実現を目指す。
	8 12年度予算案が衆院を通過	一般会計総額は前年度を下回るが、別枠の特別会計の東日本大震災復興費や基礎年金の負担分を加えると、過去最大になる。
	8 11年GDP(2次速報)	実質▲0.7%、名目▲2.8%。
	8 ECB、政策金利	1.0%。
	12 日銀、金融政策決定会合(～13日)	金融緩和を一段と強化し、成長基盤強化を支援するための資金供給を拡充すること(貸付総額は3兆5,000億円から5兆5,000億円に増加)を決定。
	13 米、FOMC	ゼロ金利政策の継続を確認。
	14 米、11年経常収支	経常赤字4,734億ドル(前年比+0.5%)、2年連続で拡大。
	16 11年度大学生就職内定率	12年春卒業予定者の内定率80.5%(2月1日時点、前年同期比3.1ポイントの増)。
	21 3月月例経済報告	「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。」
	22 12年1月1日時点の公示地価	全国平均(全用途)は前年比▲2.6%と、4年連続で前年を下回り、下落幅が縮小。
29	米、11年GDP(確定)	+1.7%。
4	1 改正特許法施行	共同研究成果を一部の発明者が抜け駆けで特許出願するトラブル防止など。
	2 日銀、3月企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で▲4と、2期連続のマイナスに。
	4 ECB、政策金利	1.0%。
	5 12年度予算が成立	日本国憲法第60条・衆議院の優越の規定に基づいて成立、一般会計総額約90兆円。
	5 11年度輸入車新規登録台数【日本自動車輸入組合】	29.5万台(前年比+22.9%)、うち外国メーカー車22.3万台(同+22.1%)。
	9 日銀、金融政策決定会合(～10日)	金融政策を維持。
	10 11年度工作機械受注(速報)【日本工作機械工業会】	1兆3,120億円(前年比+17.8%)。

月日	主な動き	内容・決定事項等
12	4月月例経済報告	「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。」
13	中国、1～3月期GDP(前年同期比)	+8.1%、個人消費が減速。
15	タイタニック沈没から100年	
17	人口推計(11年10月1日時点)	総人口1億2,779万9千人(前年比▲0.2%)。
17	IMF世界経済見通し(春季)	世界経済の実質GDP成長率は、米景気回復や欧州債務危機がやや薄らぎ、12年+3.5%、13年+4.1%。12年の日本は+2.0%、13年は+1.7%。
19	東京電力福島第一原子力発電所	1～4号機が正式に廃止となり、日本の原発が54基から50基に減少。
19	11年度貿易統計(速報)	貿易赤字4兆4,101億円、リーマン・ショック後の景気悪化で輸出が大きく落ち込んだ08年度以来、3年ぶり。
19	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～20日、ワシントンDC)	
20	11年度粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	1億646万トン(前年比▲3.9%)、2年ぶり減少となるも2年連続で1億トン台維持。
24	米、FOMC(～25日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
25	11年度国内パソコン出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数1,127.7万台(前年比+8.0%)、うちデスクトップパソコン330.9万台(同+1.9%)、ノート型796.8万台(同+10.8%)。
27	日銀、金融政策決定会合	資産買入れの増額を決定(70兆円)。
27	米、1～3月期GDP(速報、季調済年率換算)	+2.2%、11四半期連続のプラス成長となるも前期より減速。
27	11年度新設住宅着工戸数	84万1,246戸(前年比+2.7%)、2年連続増加。
30	日米首脳会談(ワシントンDC)	日米同盟を「アジア太平洋地域の平和と経済的繁栄に不可欠」とする共同声明発表。
5	3 ECB、政策金利	1.0%。
	7 ロシア大統領就任式	3月の大統領選挙で当選したプーチン首相が4年ぶりに復帰。
	10 11年度末の国の借金	債務残高総額959兆9,503億円(前年度末比+35兆5,907億円)と過去最大を更新。
	10 11年度国際収支統計(速報)	経常黒字は7兆8,934億円(前年比▲52.6%)と、3年ぶりに黒字幅縮小。
	13 日中韓3カ国首脳会談(北京)	野田佳彦首相、中国温家宝首相、韓国李明博大統領が会談。日中韓3カ国の自由貿易協定(FTA)締結交渉の開始などを協議。
	15 ユーロ圏17カ国、1～3月期GDP(前期比)	+0.02%。
	17 11年度GDP(速報)	実質0.0%、名目▲1.9%。

月日	主な動き	内容・決定事項等
18	5月月例経済報告	「景気は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。」
18	G8首脳会議（～19日、米・カナダ・ブラジル）	成長と雇用の促進は必要不可欠、持続可能な財政健全化政策を支持、ギリシャにユーロ圏残留を促すなどの宣言をまとめる。
22	日銀、金融政策決定会合（～23日）	金融政策の現状維持を決定。追加の金融緩和を見送る。
22	東京スカイツリー開業	
22	OECD経済見通し（春季）	OECD加盟34カ国の成長率は12年+1.6%、13年+2.2%を予測。
31	米、1～3月期GDP（2次速報、季調済年率換算）	+1.9%に下方修正。
6	4 野田第2次改造内閣が発足	
5	11年合計特殊出生率	前年同様の1.39。
6	ECB、政策金利	1.0%。
8	11年度GDP（2次速報）	実質0.0%、名目▲2.0%。
12	世界銀行、世界経済見通し	12年の実質GDP成長率は世界+2.5%、米+2.1%、ユーロ圏▲0.3%、日本+2.4%。
14	日銀、金融政策決定会合（～15日）	金融政策の現状維持を決定。
18	G20首脳会議（～19日、メキシコ・ロスカボス）	欧州の経済危機が世界に波及するのを防ぐため、ユーロ圏各国が「地域を安定させるすべての必要な措置をとる」ことをうたった共同声明を採択。
19	米、FOMC（～20日）	オペレーションツイストの期間延長、ゼロ金利政策を14年終盤まで維持。
22	6月月例経済報告	「景気は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。」
22	通商白書2012年版	副題「世界とのつながりの中で広げる成長のフロンティア」。
28	米、1～3月期GDP（確定、季調済年率換算）	+1.9%。
7	2 12年分路線価	全国平均は前年を2.8%下回り、4年連続の下落。
2	日銀、6月企業短期経済観測調査（短観）	業況判断指数（DI）は大企業・製造業で▲1と、前回3月調査より3ポイント改善。改善は3期ぶり。
5	ECB、政策金利	0.75%。
5	12年上半年輸入車新規登録台数（速報）【日本自動車輸入組合】	15.1万台（前年同期比+14.8%）、うち外国メーカー車は11.8万台（同+24.0%）。
11	日銀、金融政策決定会合（～12日）	金融政策の現状維持を決定。
13	中国、4～6月期GDP（前年同期比）	+7.6%に鈍化。8%を割り込むのは09年以来3年ぶり、6期連続の低下。

月日	主な動き	内容・決定事項等
23	7月月例経済報告	「景気は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。」
25	12年上半年貿易統計（速報）	貿易収支は▲2兆9,158億円と過去最大の赤字。輸出は32兆5,956億円（前年同期比+1.5%）と3期ぶりの増加、輸入は35兆5,113億円（同+7.4%）と5期連続の増加。
27	経済財政白書2012年版	副題「日本経済の復興から発展的創造へ」。
27	米、4～6月期GDP（速報、季調済年率換算）	+1.5%。
30	12年上半年自動車輸出実績【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数248.8万台（前年同期比+35.2%）、上半期として2年ぶりに増加。
31	米、FOMC（～8月1日）	量的緩和第3弾（QE3）の実施は見送り、景気判断は下方修正。
8	2 ECB、政策金利	0.75%。
8	日銀、金融政策決定会合（～9日）	金融政策の現状維持を決定。
8	12年上半年国際収支（速報）	経常収支3兆366億円（前年同期比▲45.0%）と黒字幅の縮小、統計比較可能な1985年以降、最少水準で減少率は最大。
13	4～6月期GDP（速報、季調済、前期比）	実質+0.3%、4四半期連続のプラス成長。名目▲0.1%。
14	ユーロ圏17カ国、4～6月期GDP（前期比）	▲0.2%、2四半期ぶりのマイナス。
15	尖閣諸島の魚釣島に香港の活動家ら7人が上陸	うち5人を出入国管理法違反の疑いで現行犯逮捕。
28	8月月例経済報告	「景気は、このところ一部に弱い動きがみられるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。」
29	米、4～6月期GDP（2次速報、季調済年率換算）	+1.7%に上方修正。
9	5 世界経済フォーラム、世界競争力レポート	日本の総合順位は10位（前年9位）。
6	ECB、政策金利	0.75%。
8	延長国会が閉会	社会保障と税の一体改革関連法案が成立。赤字国債法案などは先送り。
8	アジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議（～9日、ウラジオストク）	保護主義の抑止を明記した「成長のための統合、繁栄のための革新」首脳宣言を採択。
10	4～6月期GDP（2次速報、季調済、前期比）	実質+0.2%、名目▲0.3%。
12	米、FOMC（～13日）	住宅ローン担保証券（MBS）の買入れによるQE3実施を発表。

月日	主な動き	内容・決定事項等
14	9月月例経済報告	「景気は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みがみられる。」
15	中国各地で反日デモが発生	北京、上海、重慶など各都市で、尖閣諸島国有化に抗議する反日デモが発生。
18	日銀、金融政策決定会合(～19日)	資産買入れの増額を決定(80兆円)。
18	国連総会開幕(ニューヨーク)	野田佳彦首相が一般討論演説(26日)。
19	12年7月1日時点の公示地価	全国平均(全用途)で前年比▲2.7%、前年の▲3.4%から0.7ポイント縮小したものの、全国平均が前年比で下落したのは21年連続。
19	日本航空、再上場	上場廃止から約2年7ヵ月ぶりに東京証券取引所第1部に再上場。
21	民主党代表選挙	野田佳彦首相を代表に再選。
26	自民党総裁選挙	安倍晋三氏、決戦投票を経て選出。
27	米、4～6月期GDP(確定、季調済年率換算)	+1.3%に下方修正。
29	日中国交正常化40周年	
10	1 野田第3次改造内閣が発足	
1	1 日銀、9月企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で▲3と、前回6月調査より2ポイント悪化。長引く欧州債務問題を背景に景気の減速が中国など新興国に波及し、外需関連を中心に企業心理が冷え込む。
1	1 東京駅丸の内駅舎が全面開業	約1世紀前の開業当時の姿に復元。
1	1 日本郵便株式会社が発足	郵便局株式会社と郵便事業株式会社が統合。
1	1 マレーシア・アブドゥル・ハリム・ムアザム・シャー第14代マレーシア国王来日(～5日)	日本貿易会を含む5団体共催で歓迎昼食会(2日)。
4	4 日銀、金融政策決定会合(～5日)	金融政策の現状維持を決定。
4	4 オスプレイが飛行訓練を実施	
4	4 12年度上半期輸入車新規登録台数【日本自動車輸入組合】	14.9万台(前年同期比+5.3%)、うち外国メーカー車は11.6万台(同+9.9%)。
4	4 ECB、政策金利	0.75%。
8	8 ノーベル生理学・医学賞	山中伸弥京都大学教授が受賞、日本のノーベル賞受賞者は19人目。
9	9 IMF世界経済見通し(秋季)	13年実質経済成長率は、世界+3.6%、日本+1.2%と予測。
12	12 10月月例経済報告	「景気は、引き続き底堅さもみられるが、世界景気の減速等を背景として、このところ弱めの動きとなっている。」
12	12 IMF世界銀行年次総会(～14日、東京)	東京国際フォーラム(東京・有楽町)などで開催。
18	18 中国、7～9月期GDP(前年同期比)	+7.4%増。

月日	主な動き	内容・決定事項等
22	12年度上半期貿易統計(速報)	貿易収支は▲3.2兆円の赤字、赤字額は半期ベースで過去最大。輸出は▲2.0%、輸入は+2.6%。
23	23 米、FOMC(～24日)	ゼロ金利政策の継続を確認。
24	24 12年度上半期パソコン国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数546.2万台(前年同期比+0.8%)、3,883億円(同▲10.9%)。
26	26 マイクロソフトのOS「Windows 8」発売	
26	26 米、7～9月期GDP(速報、季調済年率換算)	+2.0%、1%台の前期からやや持ち直す。
29	29 臨時国会(第181回国会)召集	会期は11月16日(解散)までの19日間。
30	30 日銀、金融政策決定会合	資産買入れの増額を決定(91兆円)。
30	30 12年度上半期自動車輸出実績【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数236万7,260台(前年同期比+19.4%)と上半期として2年ぶりのプラス。
11	4 G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～5日、メキシコ市)	
5	5 アジア欧州会議(ASEM)首脳会合(～6日、ラオス・ビエンチャン)	欧州債務危機を発端に世界景気が不透明感を増す中、アジアと欧州が経済協力を強めることで持続的成長を実現する方針で一致。
6	6 米大統領選挙	オバマ大統領が再選。
8	8 12年度上半期国際収支(速報)	経常収支黒字は2兆7,214億円(前年同期比▲41.3%)、貿易収支は2兆6,191億円と赤字幅が拡大。
8	8 第18回中国共産党大会(～14日)	習近平国家副主席が総書記に選出され、新しい党指導部が誕生。
8	8 ECB、政策金利	0.75%。
12	12 7～9月期GDP(速報、季調済、前期比)	実質▲0.9%、名目▲0.9%。
16	16 11月月例経済報告	「景気は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている。」
18	18 ASEAN関連首脳会議、東アジア首脳会議(EAS、～20日、カンボジア・プノンペン)	ASEANを中心とした地域協力及び地域・国際情勢について議論。
19	19 日銀、金融政策決定会合(～20日)	金融政策の現状維持を決定。
20	20 日米首脳会談(プノンペン)	野田佳彦首相、TPP参加に向けた協議加速を表明。
26	26 COP18(～12月8日、カタール・ドーハ)	20年の発効を目指す地球温暖化対策の新たな国際的な枠組みなどを協議。
27	27 OECD経済見通し(秋季)	OECD加盟34カ国の成長率を12年+1.4%、13年+1.4%予測に下方修正。
29	29 米、7～9月期GDP(2次速報、季調済年率換算)	+2.7%に上方修正。

月	日	主な動き	内容・決定事項等
12	2	中央自動車道笹子トンネル上り線(東京方面)で崩落事故	9名が死亡。
	6	ECB、政策金利	0.75%。
	6	ユーロ圏 17 カ国、7～9 月期 GDP (前期比)	▲ 0.1%。
	7	三陸沖地震が発生	マグニチュード 7.4、最大震度 5 弱。
	10	7～9 月期 GDP (2 次速報、季調済、前期比)	実質▲ 0.9%、名目▲ 0.9%。
	11	米、FOMC (～ 12 日)	失業率が 6.5%に低下するまで事実上のゼロ金利政策を継続するとの方針を決定。
	14	日銀、12 月企業短期経済観測調査 (短観)	業況判断指数 (DI) は大企業・製造業で▲ 12 と、前回 9 月調査より 9 ポイント悪化。非製造業も +4 と 6 期ぶりに悪化。
	16	第 46 回衆議院議員総選挙	自民党が公明党と合わせ総定数の 3 分の 2 を超えて圧勝し、約 3 年 3 カ月ぶりに政権奪還。
	16	東京都知事選挙	石原慎太郎前知事の後継指名を受けた前副知事の猪瀬直樹氏が、過去最多の得票で当選。
	19	日銀、金融政策決定会合 (～ 20 日)	資産買入れの増額を決定 (101 兆円)。
	19	韓国大統領選挙	朴槿恵 (パク・クネ) 氏が当選、韓国初の女性大統領。
	20	米、7～9 月期 GDP (確定、季調済年率換算)	+3.1%に上方修正。
	21	12 月月例経済報告	「景気は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている。」
	26	第 2 次安倍内閣が発足	
	28	東京株式市場大納会	日経平均株価の終値は 1 万 395 円 18 銭、13 年ぶり年最高値。
	31	NY 株式市場年末値	ダウ工業会 (30 種平均) の終値は 1 万 3,104.14 ドル、+1.3%となり、年末最後の上げ幅としては過去最大。